

2010 科学技術振興調整費



文部科学省 科学技術・学術政策局 科学技術・学術戦略官付(推進調整担当)

科学技術振興調整費

科学技術振興調整費は、総合科学技術会議の方針に沿って科学技術の振興に必要な重要事項の総合推進調整を行うための経費であり、以下の施策であって、各府省の施策の先鞭となるもの、各府省ごとの施策では対応できていない境界的なもの、複数機関の協力により相乗効果が期待されるもの、機動的に取り組むべきもの等で、政策誘導効果が高いものに活用されます。

- ① 優れた成果の創出・活用のための科学技術システム改革
- ② 将来性が見込まれる分野・領域への戦略的対応等
- ③ 科学技術活動の国際化の推進

なお、具体的な運用については、総合科学技術会議が概算要求方針や配分の基本的考え方といった基本的な方針を作成し、これらに沿って文部科学省が運用（公募、審査、資金配分、中間・事後評価等）を行うこととされています。

INDEX

科学技術振興調整費	1
補助金化について	2
科学技術振興調整費の成果	3
✳ 平成22年度に公募を実施するプログラム	
社会システム改革と研究開発の一体的推進プログラム	
■ 気候変動に対応した新たな社会の創出に向けた社会システムの改革プログラム	5
■ 健康研究成果の実用化加速のための研究・開発システム関連の隘路解消を支援するプログラム	6
■ 安全・安心な社会のための犯罪・テロ対策技術等を実用化するプログラム	7
若手研究者養成システム改革	
■ 若手研究者の自立的な研究環境整備促進	8
■ イノベーション創出若手研究人材養成	10
女性研究者支援システム改革	
■ 女性研究者支援モデル育成	12
■ 女性研究者養成システム改革加速	13
■ 地域再生人材創出拠点の形成	14
アジア・アフリカ科学技術協力の戦略的推進	
■ 戦略的環境リーダー育成拠点形成	17
■ 国際共同研究の推進	18
科学技術振興調整費 Q&A / PD・PO 制度・成果について	20

補助金化について

科学技術振興調整費では、平成21年度より、科学技術システム改革を先導するプログラム*について、新規に採択される課題及び既に採択されて平成21年度以降も実施される課題について、これまでの委託費としての運用から補助金の運用に改善することとしました。

今回の補助金化は、各研究機関で実施された科学技術システム改革が、科学技術振興調整費による支援期間終了後もその機関に根付いていくことが重要であるということ及び総合科学技術会議や実施機関による委託費の使い勝手の悪さについてのご指摘等を最大限に踏まえた改善です。これにより、機関の主体的取組と弾力的運用が推進され、システム改革の継続性をより一層確保していただくことができるようになろうかと思えます。したがって、本公募の提案に当たっては、補助金化したことにより可能となる調整費支援終了後の継続性の確保を確実にする取組について、積極的に提案に盛り込んでいただくことを、期待しています。

科学技術システム改革を先導するプログラム*

- 社会システム改革と研究開発の一体的推進プログラム
 - 気候変動に対応した新たな社会の創出に向けた社会システムの改革プログラム
 - 健康研究成果の実用化加速のための研究・開発システム関連の隘路解消を支援するプログラム
 - 安全・安心な社会のための犯罪・テロ対策技術等を実用化するプログラム
- 女性研究者支援システム改革
 - 女性研究者支援モデル育成
 - 女性研究者養成システム改革加速
- 地域再生人材創出拠点の形成
- アジア・アフリカ科学技術協力の戦略的推進
 - 戦略的環境リーダー育成拠点形成
 - 国際共同研究の推進
- 若手研究者養成システム改革
 - 若手研究者の自立的な研究環境整備促進
 - イノベーション創出若手研究人材養成
- 重要課題解決型研究等の推進

*国立試験研究所については、これまで通り移し替えによる運用となります。